

事務事業名	加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅱ〉環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり〈定住環境〉	所属G	国県事業G	課長名	森田 一
	施策名	〈08〉高速・広域交通網の整備	担当者名	佐藤 寿樹	電話番号	0854-40-1062
	目的	対 A) 高速道路利用者 B) 広域道路利用者	意図	市外主要都市と雲南市を安全で迅速に移動できるようにする。	(内線)	3736
	基本事業名	〔022〕高速道路の整備促進	予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 4 0 0 8 項目 中事業 中事業名 1 0 1 5 0 1	国道・県道整備事業 高速道路整備関連事業	
目的	対 高速道路利用者	意図	安全・迅速に高速道路を利用してもらう。			

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 年度 ~ 26 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
(事務事業の概要) ・加茂岩倉遺跡地域拠点整備事業に関する関係機関の協議・調整 (具体的なやり方、手順、詳細) ・松江自動車道の加茂岩倉PAから直接本遺跡へのアクセスが可能となるよう協議・調整及び工事を行う。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	25年度実績(25年度に行った主な活動)	26年度計画(26年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	ア 工事進捗率	%			0	100
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)
	・高速道路利用者	ア 駐車場	箇所			0	2
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(実績)	26年度(計画)	
・安全・迅速に高速道路を利用してもらう。 ・加茂岩倉遺跡へのアクセスが向上する。	ア 加茂岩倉遺跡利用者	人/年			5,957	7,100	
	イ 時間短縮(アクセス性向上)	分			0	10	
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (25年度決算)	② コストの推移	単位	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(決算)	26年度(計画)	
加茂岩倉遺跡駐車場設計費:6,856千円 加茂岩倉遺跡駐車場整備費:10,584千円	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円			11,400	23,100
		その他	千円				
		一般財源	千円			6,040	1,267
		事業費計(A)	千円			17,440	24,367
		人件費	人			3	
	正規職員従事人数	人			500		
	延べ業務時間	時間			1,947		
	人件費計(B)	千円			19,387		
	トータルコスト(A)+(B)	千円					

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
中国横断自動車道尾道松江線の三刀屋木次ICまでの開通時に加茂岩倉PAが供用されなかったため、加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業を中断していたが、三次東ICまでの開通に併せて整備されたため、整備事業を再開した。	PA・SAを活用した地域拠点整備事業により、整備することとなった。合併特例債を財源に充当することで、雲南市の負担を軽減した。	加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業については、合併前から協議がなされており、地元からの要望がなされていた。

事務事業名	加茂岩倉遺跡パーキングエリア整備事業	所属部	建設部	所属課	建設事業課
-------	--------------------	-----	-----	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																		
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																			
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？																				
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？																				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																			
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																				
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	国土交通省、島根県、NEXCOと協議・調整し、整備計画を策定し、事業を実施している。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																				
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	廃止・休止した場合、加茂岩倉PAが計画され、整備された目的が実現されないこととなる。																	
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																				
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																		
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																			
	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	統廃合はできない。																			
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																		
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																			
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？																				
B 有効性	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	理由	関係機関との協議・調整をし、最小限の人員で事業を実施した。																		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																				
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	加茂岩倉PA地域拠点整備事業への取り組みについては、観光産業など市内全域が対象となることから、高速道路の活用方法の検討・工夫により雲南市全域が受益対象となる。																	
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																				
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																		
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																	
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可			② 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)			<table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持	●	×	低下	×	×
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
成果	向上																				
	維持	●	×																		
	低下	×	×																		
平成26年の夏の供用を目標に整備を行う。			<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																		

3 今後の方向性【PLAN】